

The Report to SPK Owners

2011.12 (Vol.32)

SPK



第141期 中間期ご報告

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

SPK株式会社

目 次

SPKの企業文化	1
オーナーのみなさまへ	2
事業の報告	3
経営方針と見通し	4
四半期連結貸借対照表	5
四半期連結損益計算書	7
四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
主要経営指標の推移	9
株式の状況	12
株価の推移 / 当社グループの主要な事業所 / 役員	13
会社概要 / 株主メモ	14

■ SPKの企業文化

<経営理念>

誠実 (Sincerity) に生き

情熱 (Passion) を持って仕事をし

親切 (Kindness) な対応ができる

企業人の集団

■ オーナーのみなさまへ

SPKオーナーのみなさまには、平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。また、東日本大震災により被災されましたオーナーのみなさまの一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。



社長 轟 富和

第141期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業のご報告をさせていただきます。

当中間期の連結決算業績は、前年同期比で申し上げますと、売上高は15.3%の増収、営業利益は14.4%の増益、経常利益は13.0%の増益、四半期純利益は13.1%の増益となりました。

オーナーのみなさまへの配当につきましては、株主重視の方針にもとづき、中間配当は1円増配の26円とさせていただきます。

下期は国内外ともに厳しい環境が続くと予想されますが、仕事の質を高め、マーケットを深く耕すという地道な営業活動を根気よく積み重ねて「持続する収益力」を強化してまいります。

なにとぞ、今後とも一層のご理解とご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 轟 富和

■ 事業の報告

当第2四半期（中間期）の概況

当第2四半期（中間期）のわが国経済は、サプライチェーンの急速な復旧に伴いメーカー各社の生産が回復し、復興需要も重なり、個人消費も多少持ち直してきました。一方、海外においては、米国景気の減速懸念が一段と強まり、加えて欧州の債務不安問題が更に深刻化し、わが国の景気の先行きはますます混迷度を深めておりますが、当第2四半期（連結）の売上高は前年同期比15.3%の増収となり、利益面においても、営業利益が14.4%の増益となりました。

国内営業本部は、従来通り自動車の機能・消耗部品の販売に地道に取り組み、環境に適した新規商材の開発・販売に努め、復興需要にも支えられました。その結果、売上高は前年同期比3.2%増収の84億85百万円となりました。

海外営業本部は、円高の進行により厳しい環境が続いておりますが、アジアや北中南米を中心に受注が回復傾向にあり、成約が向上してきました。また、今期からシンガポール現地法人を連結対象にしております。その結果、売上高は前年同期比37.9%増収の56億54百万円となりました。

工機営業本部は、大震災の影響により4～5月にかけて主要納入先の生産が一部停止しましたが、6月以降、主要業界各社共に増産基調となりました。その結果、売上高は前年同期比20.3%増収の17億40百万円となりました。

当社グループ経営データ

①当社グループの業績

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	対前年同期比
売上高	15,880	13,767	115.3
営業利益	543	475	114.4
経常利益	581	514	113.0
四半期純利益	337	298	113.1

②当社グループの売上高データ

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	対前年同期比
国内営業本部	8,485	8,220	103.2
海外営業本部	5,654	4,100	137.9
工機営業本部	1,740	1,447	120.3
売上高	15,880	13,767	115.3

■ 経営方針と見通し

社会的貢献を維持するために「豊かに持続すること」、これがS P Kの経営目的です。

<経営の基本方針>

- ① 企業の変革と経営の先進性を追求します。
- ② 全社員に成長するチャンスとステージを提供します。
- ③ 「持続する収益力」の維持・強化をめざします。
- ④ お得意先の満足と社会への貢献を追求します。
- ⑤ 株主、利益配分および情報開示を重視します。

配当については、上期の1円増配に続いて、下期も1円増配し、通期で2円増配の53円配当をし、14期連続の増配を実現していきたいと考えております。

通期の業績見通し

国内営業本部は下期以降も先行きを見通せない環境が予想されますが、商品開発他、営業施策を打って改善に努めており、さらなる業績向上に努めます。

また、海外営業本部は円高進行の懸念はありますが、受注が回復傾向にあること、および工機営業本部は、主要納入先である建機・産機メーカーの生産が好調に推移する見通しにあり、さらなる業績の拡大をめざします。

上期は計画を上回るペースで推移しております。しかし、下期以降、円高や株安等のマイナス要因もあり、予断を許さない環境にありますが、期首の業績予想を達成してまいります。

<当社グループの業績見通し>

(単位：百万円、%)

	通期見通し	前期実績	対前期比
売上高	31,500	28,554	110.3
営業利益	1,200	1,035	115.9
経常利益	1,250	1,125	111.0
当期純利益	750	660	113.5

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期		前 期	
	平成23年9月30日現在		平成23年3月31日現在	
資産の部				
流動資産	13,841		13,502	
現金及び預金	3,653		3,585	
受取手形及び売掛金	6,820		6,420	
商品	2,524		2,457	
繰延税金資産	130		144	
関係会社短期貸付金	4		200	
その他	758		715	
貸倒引当金	△ 51		△ 19	
固定資産	1,573		1,542	
有形固定資産	822		781	
建物及び構築物	88		92	
土地	667		619	
その他	65		69	
無形固定資産	188		215	
ソフトウェア	10		14	
その他	177		200	
投資その他の資産	563		546	
投資有価証券	292		288	
繰延税金資産	142		138	
その他	128		122	
貸倒引当金	△ 0		△ 3	
資産合計	15,415		15,045	

科 目	当第2四半期		前 期	
	平成23年9月30日現在		平成23年3月31日現在	
負債の部				
流動負債	3,852		3,707	
支払手形及び買掛金	2,903		2,804	
短期借入金	144		—	
未払法人税等	220		341	
その他	584		561	
固定負債	713		733	
退職給付引当金	474		466	
預り保証金	64		64	
その他	174		202	
負債合計	4,566		4,440	
純資産の部				
株主資本	10,763		10,517	
資本金	898		898	
資本剰余金	961		961	
利益剰余金	8,904		8,658	
自己株式	△ 0		△ 0	
その他の包括利益累計額	85		87	
その他有価証券評価差額金	90		85	
繰延ヘッジ損益	△ 1		2	
為替換算調整勘定	△ 4		—	
純資産合計	10,848		10,604	
負債及び純資産合計	15,415		15,045	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	15,880	13,767
売上原価	13,649	11,754
売上総利益	2,231	2,013
販売費及び一般管理費	1,687	1,537
営業利益	543	475
営業外収益	77	78
受取利息	1	3
受取配当金	2	1
仕入割引	53	60
その他	19	12
営業外費用	39	39
支払利息	2	1
売上割引	35	33
その他	1	4
経常利益	581	514
特別利益	0	4
貸倒引当金戻入額	—	4
固定資産売却益	0	0
特別損失	1	0
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	0	—
税金等調整前四半期純利益	580	519
法人税、住民税及び事業税	230	209
法人税等調整額	12	10
少数株主損益調整前四半期純利益	337	298
四半期純利益	337	298

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

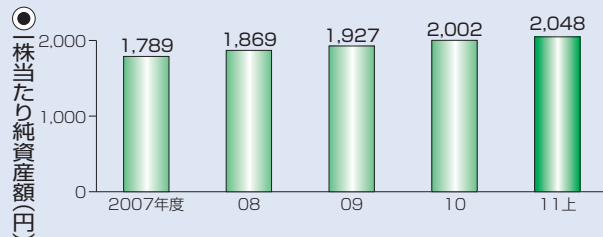
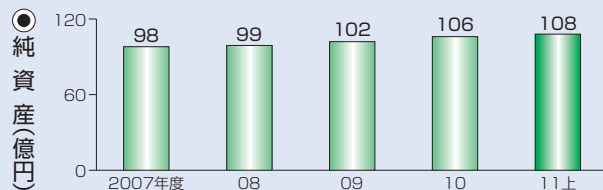
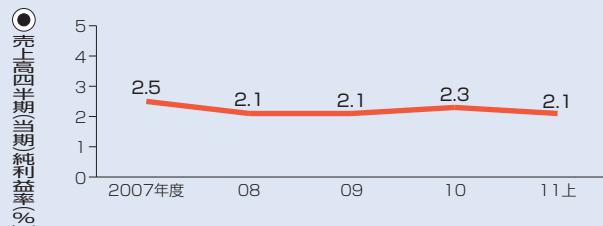
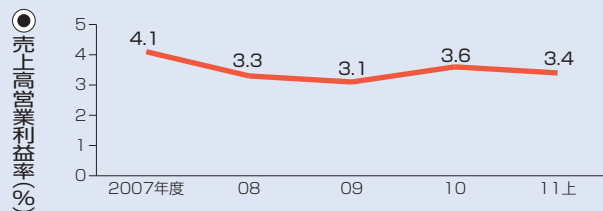
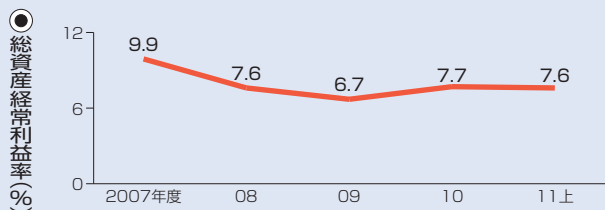
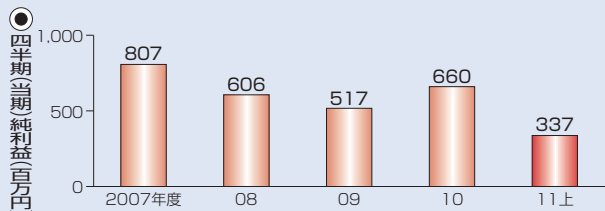
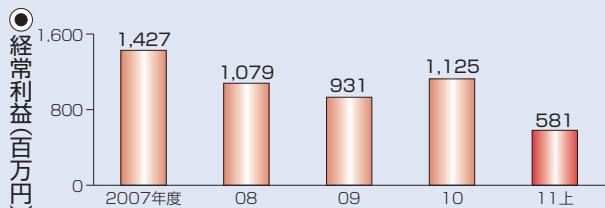
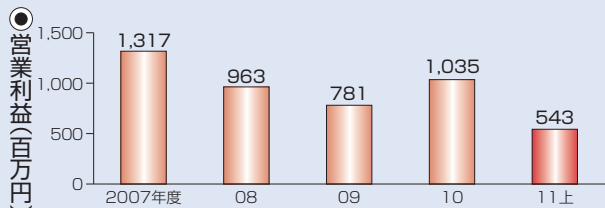
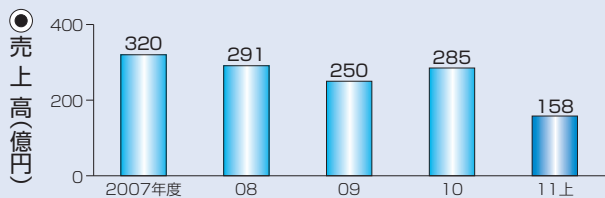
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	580	519
減価償却費	48	30
長期前払費用償却	0	0
貸倒引当金の増減額 (減少：△)	△ 5	△ 4
退職給付引当金の増減額 (減少：△)	7	7
受取利息及び受取配当金	△ 3	△ 4
支払利息	2	1
売上債権の増減額 (増加：△)	105	△ 57
たな卸資産の増減額 (増加：△)	51	△ 116
仕入債務の増減額 (減少：△)	△ 140	△ 223
その他	△ 37	△ 100
小 計	609	37
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△ 2	△ 1
法人税等の支払額	△ 352	△ 239
営業活動によるキャッシュ・フロー	257	△ 198
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 1,157	△ 1,409
定期預金の払戻による収入	950	1,200
有形固定資産の取得による支出	△ 53	△ 6
有形固定資産の売却による収入	0	1
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△ 0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	△ 212
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (減少：△)	27	—
リース債務の返済による支出	△ 28	△ 9
配当金の支払額	△ 137	△ 132
自己株式の売買による収支	—	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 138	△ 142
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	△ 1
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 150	△ 554
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,997	2,834
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	11	—
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,859	2,279

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

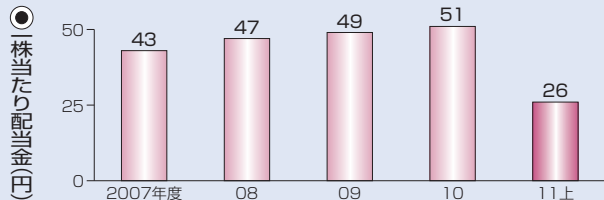
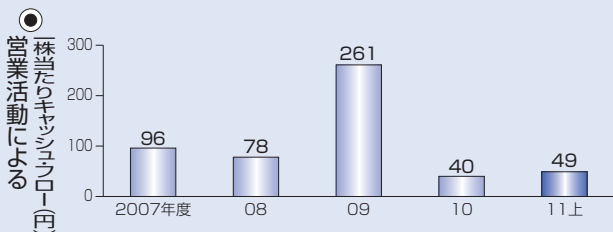
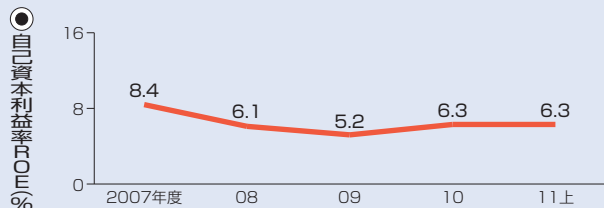
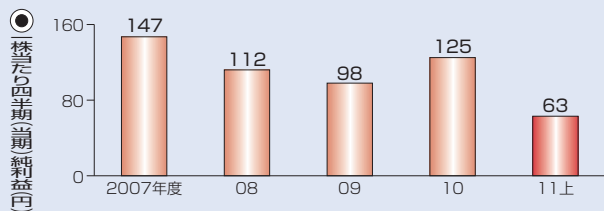
■ 主要経営指標の推移 (連結ベース)



主要経営指標の推移

主要経営指標の推移

■ 主要経営指標の推移 (連結ベース)



■ 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 22,000,000株
- ②発行済株式の総数 5,296,900株
- ③株主数 3,277名
- ④大株主 (上位11名)

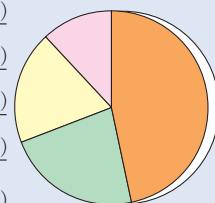
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	377,000	7.11
アールビーシー デクシア インバスター サービスズ トラスト、ロンドンクライアント アカUNT	258,900	4.88
SPK社員持株会	174,006	3.28
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック フアUND	165,000	3.11
西野義貞	131,000	2.47
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカUNT エスクロウ	130,200	2.45
竹田和平	120,000	2.26
日本生命保険相互会社	116,600	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	108,500	2.04
株式会社エクセディ	100,000	1.88
スタンレー電気株式会社	100,000	1.88

(注) 持株比率は自己株式 (746株) を控除して計算しております。

⑤ 株式分布状況

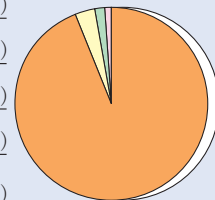
イ. 発行済株式の総数 5,296,900株

個人・その他	2,475,431株 (46.7%)
金融機関・金融商品取引業者	1,199,388株 (22.7%)
国内法人	993,935株 (18.8%)
外国法人等	627,400株 (11.8%)
自己名義株式	746株 (0.0%)



ロ. 株主数 3,277名

個人・その他	3,082名 (94.1%)
国内法人	109名 (3.3%)
金融機関・金融商品取引業者	53名 (1.6%)
外国法人等	32名 (1.0%)
自己名義株式	1名 (0.0%)



■ 株価の推移



■ 当社グループの主要な事業所

- ① 当社
- <本社> 大阪市福島区福島5丁目5番4号
- <営業所> 札幌・仙台・宇都宮・東京・名古屋・富山
近畿(大阪市)・広島・米子・高松・福岡
鹿児島・沖縄
- <出張所> 浜松・徳島・熊本
- <センター> 外車部品(大阪市)
- <工場> 東京工機部(さいたま市)
大阪工機部(大阪市)
- <その他> カスタマイズドパーツ部(東京都)
- ② 連結子会社
- 株式会社丸安商会 大阪市福島区福島8丁目18番14号
- SPK SINGAPORE 5 KALLANG PUDDING ROAD #02-01
PTE. LTD. SINGAPORE 349309

■ 役員 (平成23年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長	轟 富和
代表取締役専務	砂川 裕伸
専務取締役	中田 陽市
常務取締役	松村 秀樹
常務取締役	赤穂 伸也
取締役	沖 恭一郎
取締役	畠 昇

監査役

常勤監査役	仲山 利久
監査役	(公認会計士・税理士) 榎 卓生
監査役	(弁護士) 中務 尚子

■ 会社概要

商号	SPK株式会社
証券コード	7466 (東京証券取引所市場第一部)
本社所在地	〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目5番4号 電話06-6454-2571 FAX06-6454-2494
ホームページ	http://www.spk.co.jp/
会社設立	1917年(大正6年)
営業目的	自動車部品・用品/卸・輸出入 産業機械車両部品/企画・販売
取引銀行等	(株)三菱東京UFJ銀行・(株)みずほ銀行・ (株)りそな銀行・三菱UFJ信託銀行(株)

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行(株)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行(株) 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 大阪 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.spk.co.jp/

ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。